



お知らせ

記者発表資料	平成25年12月3日
配布日	

資料提供先：岡山県政記者会
岡山市記者クラブ
倉敷市記者クラブ

今、岡山河川の土木工事現場がアツい！ 巨大構造物を身近で見学してみませんか？

河川での工事は出水期が明ける10月中旬からが本番です。
今、岡山の河川では地域の安心・安全を守るため、様々な工事を行っています。
国内最大規模のゲートや日頃あまり見ることが出来ない珍しい機械が働く現場を見学してみませんか？

今しか見ることが出来ない設備や機械が沢山ありますので、土木工事現場に興味のある方は是非一度見学にいらして下さい。

また工事現場の他にも、巨大な機械設備を間近で見学すること等も可能です。
現場に詳しく優しいエンジニアが丁寧に説明をいたします。

◎工事現場等見学の一例・・・

- ① 国内最大のライジングセクターゲート（百間川河口水門増築事業）
 - ② 珍しい施工機械による堤防等の強化工事（高潮対策事業）
 - ③ 吉井川流域を潤すキーマン（吉井川坂根堰）
- ・ ・他にもいろいろな工事や施設管理を行っています。
 - ・ ・工事現場以外にもゲート操作室等の見学も可能です。（要相談）



中国地方整備局
広報キャラクター

なかづくに まもる
中津國 護

くになか えいこ
國中 映子



【注意事項】

- ・ 見学は無料です。
- ・ 見学は原則として平日に行います。（例外あり。）
- ・ 見学は10名程度以上の団体でお願いします。（例外あり。）

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所
電話 086-223-5187（調査設計課）

【担当】

副所長（改築） 笹岡 総一（内線204）
工務課長 大塚 尚志（内線311）
管理第二課長 小島 久邦（内線6921）
調査設計課長 清水 信夫（内線351）

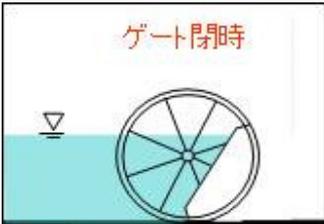
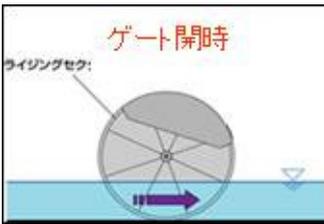
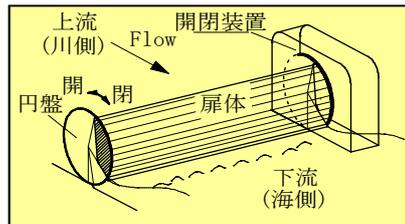
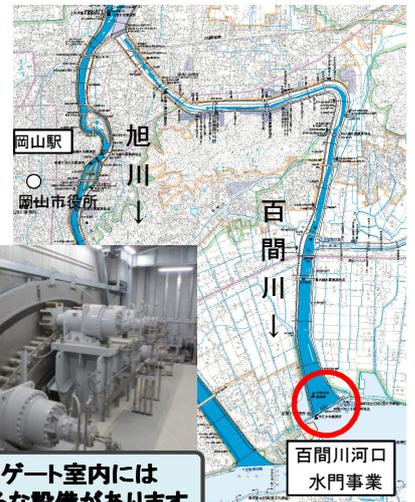


事務所HP

国内最大のライジングセクターゲート！ ～百間川河口水門増築事業～

- 河口水門増築事業は2001に着手し、2013完成予定です。
- 現在の河口水門は流下能力が計画流量の約半分しかないことから増築事業を実施しています。
- 新しく増築する水門はライジングセクターゲート形式を採用。水門本体の高さを低くすることが出来るため、耐震性、景観性、経済性に優れます。

中国地方では初！



◎ライジングセクターゲート
本ゲートは、従来の引き上げによるゲート開閉作業に対して、ゲートを回転して開閉する構造です。

見学時期：随時(ご連絡は下記へ)
中国地方整備局 岡山河川事務所 工務課長 おおつか たかし 大塚 尚志 TEL:086-223-5184

【ゼロメートル地帯を守れ】

～高梁川高潮対策事業～

この堤防、実はすごいです！

《概要》

●高梁川河口部は干拓で形成された低平地であり、高潮に対して非常に脆弱な地形です。

◎堤防の嵩上げによる高潮対策とあわせ、地震による堤防基盤の液状化対策としての地盤の強化を行っています。

その結果、こんな複合的な効果が！！

【台風の高波を超えさせない】 + 【地震による崩壊に耐える】

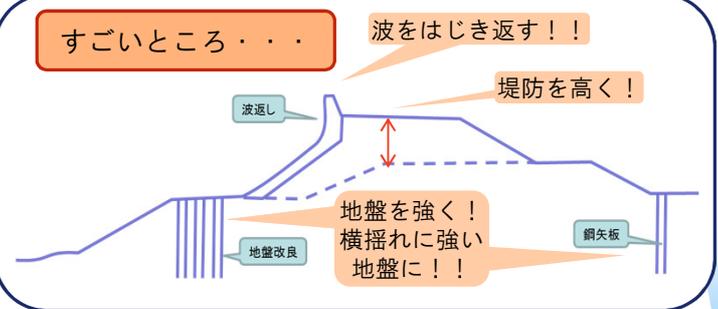


高潮による被害



これが、高潮！！

堤防を越えると・・・



地震による堤防崩壊

堤防



堤防

阪神淡路大震災の時

東日本大震災の時



堤防を高く

こうして、すごい堤防にしています。



地盤改良機械



矢板施工機械



全国で20～30台程度しかない機械達

見学時期：10月21日～6月15日

連絡先：中国地方整備局 岡山河川事務所 工務課長 おおつか たかし 大塚 尚志

TEL:086-223-5184



【ゼロメートル地帯を守れ】

～吉井川高潮対策事業～

平成の治水対策事業の一部を紹介します！

《概要》

東南海・南海トラフ巨大地震による大規模な津波を伴う地震が懸念されていますが、吉井川河口部は干拓で形成された低平地であり津波や高潮災害に対して非常に脆弱な地形となっています。不測の事態に備え巨大災害を想定した対策として国がいま行っている事業について紹介します。

高潮による被害



平成16年に観測史上最大の潮位を記録し県内沿岸部は浸水被害が発生！

地震による被害



高潮堤防



堤防強化（地盤改良）



堤防強化（矢板施工）



見学時期：12月1日～3月31日

おおつか たかし

連絡先：中国地方整備局 岡山河川事務所 工務課長 大塚尚志

086-223-5184

【吉井川流域を潤すキーマン】

～ 吉井川 坂根堰 ～

この堰、実はすごい施設なんです！

《堰の目的》

吉井川坂根堰は、次の3つを目的とした堰で、昭和55年度から運用を続けています。

治 水：坂根堰のゲート进行操作して、洪水時は雨水を安全に流すとともに、上流からくる水に貯えた水を加えながら川の流れを維持する。

かんがい用水：坂根堰のゲートで水をせき止め、岡山市東区、備前市及び瀬戸内市の農地へかんがい用水を供給する。

都 市 用 水：坂根堰のゲートで水をせき止め、岡山市及び瀬戸内市、備前市に生活用水を供給する。



治 水

平常時

洪水時

主ゲート全開

洪水の安全な流下



かんがい用水・都市用水

取水口の

倉安用水樋門

取水口の

大用水樋門

農業用水,工業用水,上水道の供給

《堰の施設》

吉井川坂根堰では、大雨が降れば、2門の洪水調整ゲート、5門の主ゲートを使って急激な水位変動を生じないように、堰上流の水位を徐々に下げながら安全に水を流すゲート操作を行っています。

そして、大雨により主ゲートを上げる場合は、一般の方に対して、坂根分室の屋上・長船局・寺山局・豆田局・邑久局の5カ所の放流警報局と警報車(パトロール車)を使って警報・サイレンで情報提供を行っています。



坂根分室内の遠方操作室



放流警報局

(写真は長船局)



坂根堰パトロール車

見学時期：10月21日～6月15日

連絡先：中国地方整備局 岡山河川事務所

管理第二課長

こしま 小島

ひさくに 久邦

TEL: 0869-66-7631